

- 森林経営管理制度に取り組む上で、市町村における林業担当の専門職員が少なく、人事異動等により技術の継承が課題となっており、森林・林業等に関する研修機会を設けることが重要となっている。
- 秋田県では、市町村職員を対象とした地域林政アドバイザー研修をはじめ、森林経営管理制度を円滑に推進するための研修会を開催し、市町村職員の技術向上を目指している。
- 令和3年度は、新たに登記関係研修会及び森林資源情報活用研修会を行った。
- 令和4年度においては、森林調査等の省力化・効率化を図るため、UAV（無人航空機）等を活用した実証実験を実施し、森林調査に関するマニュアル作成を進めていくこととしている。

□ 事業内容

森林経営管理制度を円滑に推進するための各種研修会の開催 （市町村等技術者等養成事業）

① 地域林政アドバイザー研修

市町村職員等を対象に、森林・林業に基礎的な知識及び森林経営管理制度等についての研修会を開催。

② 登記関係及び森林資源情報活用研修会 （登記関係研修会）

森林経営管理制度を推進するために必要な登記の知識や土地の境界の取り扱い等について研修会を行った。

（森林資源情報活用研修会）

森林資源情報の把握や境界の明確化、路網計画の策定など、航空レーザ計測の解析データの活用手法について研修会を行った。

【事業費】686千円（全額譲与税）

【実績】計3回の研修会を実施



地域林政アドバイザー研修時のグループ討議の様子



□ 工夫・留意した点

- 登記関係及び森林資源情報活用研修会については、コロナ禍の開催であったため、市町村に情報共有できるよう、研修内容をDVDにして配布。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	148,148千円
②私有林人工林面積（※1）	176,572ha
③人口（※2）	959,502人
④林業就業者数（※3）	2,369人

※1：「2020農林業センサスより」、※2：「R2年国勢調査」より、

※3：「H27年国勢調査」より